

議会の動きをみなさまにお伝えします

加西市議会だより



新型コロナ対策でマスク着用
加西市立泉よつばこども園入園式

令和2年度予算を可決しました (P2~3)

- 質疑 (P4~5)
- 委員会審議 (P6)
- 一般質問 (P12~15)
- 政務活動費の収支報告 (P16)

5

2020
NO. 163

令和2年度予算を可決

3月議会では、一般会計（213億2,000万円）、国民健康保険・介護保険などの特別会計、上下水道・病院の企業会計を含む、総額462億5,851万円の令和2年度予算案が提案されました。

一般会計は、予算決算常任委員会（全体会・総務分科会・建設経済厚生分科会）、特別会計と企業会計は建設経済厚生常任委員会において、5日間にわたり慎重審議を行い、原案のとおり可決しています。

予算決算常任委員会 (総務分科会・建設経済厚生分科会)

一般会計の令和2年度予算案と令和元年度補正予算案は予算決算常任委員会に付託した後、全体会で、総務、建設経済厚生の各分科会へ所管する事項を分担し審議を行いました。主な審議内容は以下のとおりです。（補正予算案の審議は6ページに掲載）

一般会計

観光

問 ホテル連携事業について。

答 市内の宿泊施設と連携し、宿泊者の滞在時間をふやす取り組みです。旅行会社に500万円を限度額としてプランを提案してもらい、プロポーザル方式で選定します。また、市のイベントに参加して宿泊し、市内を周遊した方への補助も考えています。

交通安全対策

問 高齢者運転事故防止対策補助事業について。



答 高齢者によるアクセルとブレーキの踏み間違いの事故を抑制するための安全装置の購入、または設置に係る費用の一部を補助するもので、補助額は1件当たり1万1,000円です。県の補助金2万2,000円とあわせて3万3,000円になります。

入札制度

問 電子入札システム導入の目的と費用について。

答 兵庫県が運営し、県内24団体が加盟、共同運営している、電子入札共同システムへの加盟を検討しています。応札者の労力の軽減、入札事務の正確性、効率化などのメリットがあります。システム導入等初期費用は330万円で、運営費用が約140万円です。

健康

問 運動ポイント事業について、定員を設定する必要がなくなった理由は。



答 平成30年度までは、1,500人分の活動量計を市で調達して事業を実施していましたが、令和元年度にスマートフォンのアプリを用い、参加者を広く募集できる形が整ったことから、今後は利用者制限をすることなく募集していきます。

介護

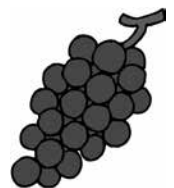


問 介護人材確保事業について、令和2年度は増額となっているが、どのような事業内容か。

答 令和元年度は一つの大学でインターンシップを実施しましたが、令和2年度は近隣の福祉系学部を持つ大学など少し範囲を広げたいと考えています。また、インターンシップの期間も長期にし、あったか介護相談員事業への参加など、より利用者と身近なところで介護という仕事を学んでもらうことで、将来の介護人材の確保に努めたいとの思いで、事業の拡大を考えています。

特産品開発

問 地元ブランド品開発事業委託料について、現在の状況と今後の見込みは。

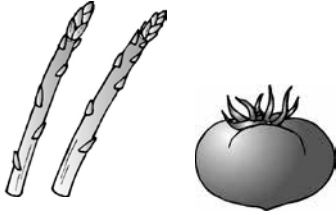


答 令和元年度は、加西ブランド協議会のホームページ作成や、特産品のトマトを使用したピューレ、ブドウのようかん、米粉の乾パン、黒豆のお茶などをつくりました。令和2年度は、手軽に飲めるペットボトルのブドウジュースなどを考えています。このほか、市内の写真家から提供いただいた紫電改のレプリカの写真を、商品のラベル等に活用できないか考えています。さらに、地方創生交付金事業の目的の一つである、仕事づくりを支援できるよう、生産者だけでなく、商工業者の所得増にもつながる支援を行っていきたいと考えます。

ふるさと納税

問 ふるさと再発見プログラム調査研究事業について、農産物など地域資源の活用方法は。

答 現在のふるさと納税の返礼品は、製造関係が全体の9割程度を占め、農産物等がその残りとなっています。毎年寄附をしていただくには、やはり農産物を地域の特産品として外部に発信するとともに、地域の方にも発信することにより、再発見、再発掘し、新たな返礼品や既存の返礼品についても、さらに磨きをかけて提供していく取り組みが必要であると考えます。



地籍調査

問 地籍調査事業の現在の進捗状況と今後の補助金の見通しについて。

答 令和元年度末で35%進捗します。今のところ、補助金がどこまで措置されるのか聞いていませんが、むしろ今問題となっている、全国でおよそ20%ある所有者不明の土地について、その利活用を促進するため、令和2年度に法改正があると聞いています。

学校教育

問 小学校学習用パソコンの整備によって、学習内容はどうなるのか。

答 小学校4年生から6年生に1人1台のパソコンを導入し、各教科横断的にパソコンを使用していきます。学習内容は、加西市全体で教育内容の標準化を図っていきます。

建設経済厚生常任委員会

特別会計と企業会計の予算案は、建設経済厚生常任委員会において審議を行いました。主な審議内容は以下のとおりです。

国民健康保険特別会計

問 県に一本化された中での保健事業の独自性は。

答 保健事業の検診の受診率の向上や医療費通知、ジェネリック通知の成果は、保険者努力支援制度で交付金が絡んできますので、各市町が独自性を発揮して今後も継続していけるのではないかと考えます。

水道事業会計

問 栗田ポンプ場の建設事業について。

答 市川水系にかわるバックアップ機能を持ち、市内北部に加えて鴨谷、明神山、滝野、西脇市に水を送る広域のポンプ施設です。工事は令和2年、3年度の2カ年かかり、全体で約15億円を考えており、県負担が約6億円、残り約9億円は加西市の持ち出しになります。

介護保険特別会計

問 65歳以上の免許証返納者の方へのタクシー券のチケット配付について。

答 24枚のチケットの交付で、80%近い方が1枚の利用という実態です。枚数に制限があるため、すぐに全部を使う方が少ないのが現状です。令和2年度は枚数を倍にし、月2回程度の外出に利用していただけるのではと考えています。

後期高齢者医療特別会計

問 保険料の改定について。

答 今回の改定では、所得割率が現行の10.17%から10.49%に、均等割額は現行の4万8,855円から5万1,371円と2,516円の増加となります。

病院事業会計

問 加西病院の現状と、今後の方向性について。

答 将来構想検討委員会を立ち上げた2年前と比べ、地域医療を取り巻く環境もかなり変わっています。その点は基本計画の中で修正し、より客観的データに基づいて県や神戸大学の意向も聞きながら、播磨地域の中で加西病院が担う役割をしっかりと見据えた上で、収支均衡を図ることができるよう体質へ経営努力を続けていこうと考えています。

(市長) 市民の思いと加西市として経営できること、そして神戸大学が医師を派遣するという形で支援できることのバランスをとっていく作業が大変重要で、そこが今後非常に大事であると思っています。



3月定例会 質疑

3月定例会で提案された議案に対し、8名の議員が質疑を行い、内容や目的など説明を求めました。主なものを紹介します。

議案第1号 加西市総合政策審議会条例の制定について

市の総合計画等の策定及び推進に関して、市民の意見を反映し、効果的な市政運営を図るため、現在の加西市元気なまちづくり市民会議を発展的に改組し、加西市総合政策審議会として条例設置するもの。

問 提案された理由と審議会について。

答 条例を根拠に審議会を設置し、その位置づけを明確にするためです。審議会は、元気なまちづくり市民会議を基本とし、各分野から参画をお願いした15名で構成し、年6回程度の会議を予定しています。

議案第14号 市立加西病院の使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例の制定について

市立加西病院の診断書等の交付手数料について、加西市公共料金問題審議会の答申を受け、見直すもの。

【概要】

区分	種別	金額	
		現行	改正案
診断書	内容が複雑な診断書	3,000円	4,000円
	死亡診断書	2,000円	3,000円
証明書	通院証明書	2,000円	3,000円
	内容が複雑な証明書	2,000円	3,000円
	内容が簡易な証明書	1,000円	2,000円

問 診断書と証明書類の値上げの理由と近隣との比較は。

答 書類の複雑化が進み作成に要する時間もふえ、人件費やシステム等の費用も必要となっています。文書作成の原価と近隣の公立病院の手数料水準等を勘案し、手数料の適正化を図るものです。なお、近隣の公立病院の手数料の中央値をとり、改定額をプラス1,000円としました。

議案第18号 第2期加西市子ども・子育て支援事業計画の策定について

子ども・子育て支援法第61条に基づき、子育て支援の仕組みとして、①質の高い幼児期の学校教育・保育の提供、②保育の量的確保、教育・保育の質的改善、③地域の子育て支援の充実を目指し、策定するもの。

問 現状の課題と重点施策について。

答 アンケートの回答から、就学前は待機児童の発生、一時保育等のニーズ増加、保育士の不足が課題です。小学生では学童保育のニーズ増加、施設の確保が課題です。そのため、5カ年計画の中で環境整備をしっかりと行う必要があると考えます。まず、待機児童の解消として令和3年4月時点で待機児童ゼロ、以降もゼロで推移する計画です。次に学童保育の充実と指導員の確保に努めます。また、子育て支援の人的サービスやセクションを集約し、利便性等の向上を図っていきます。

議案第19号 令和元年度加西市一般会計補正予算(第7号)について

【歳出】

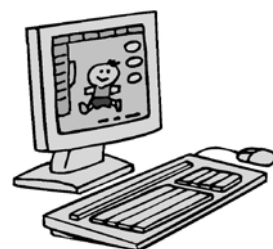
- ・公共交通政策事業 3,599万8,000円
北条鉄道設備等整備費補助金の増
- ・教育情報推進事業 1億8,207万6,000円
国の補正予算を活用した校内通信ネットワーク整備委託料(1億7,347万6,000円)の増等

問 北条鉄道設備等整備費補助金3,599万8,000円について。

答 工事費全体の増加分で3,232万2,000円と、小野市が負担しないことが確定したことに伴う補助金額367万6,000円との合計額です。工事費に関する当初計画からの増加分として、鉄軌道、土木建設工事費の建設物価上昇による増が619万1,000円、信号工事費の機能変更等による増で724万円、閉塞補助装置の物価上昇等による増で156万9,000円の合計1,500万円です。一方、追加工事については、国土交通省からの助言もありホームの補強や延伸、照明や信号システムなどの附帯工事を行うため1,732万2,000円の増となります。

問 教育情報推進事業の内容について。

答 国の令和元年度の経済対策補正を活用した文部科学省のギガスクールネットワーク構想の校内通信ネットワーク整備に係る1億7,347万6,000円、ふるさと納税を活用するふるさと応援基金繰入金で整備を進める電子黒板の購入費960万円などの補正です。令和2年度から令和5年度にかけて、全ての学校において児童・生徒1人にパソコン1台の環境を整備する計画です。



議案第 24 号 令和 2 年度加西市一般会計予算について

歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ 213 億 2,000 万円と定めるもの。

問 宇仁地区の地域主体型交通について。

答 宇仁郷まちづくり協議会が運行主体となる公共交通空白地有償運送となります。運行は平日のみで定時と定路線型の運行です。小印南線と国正線の 2 路線で、中富口から加東市にあるスーパーを 1 日約 4 往復運行する予定です。



問 公立こども園の民営化により、財政負担は軽減されるのか。また、その計画は。

答 平成 29 年度決算ベースでは、公立園は私立園に比べて年間 4 億 2,000 万円多く費用がかかっています。平成 30 年度の決算についても同額で、1 園当たり年間 8,400 万円の削減になると考えます。公立こども園 5 園のうち、まず北条東こども園を民営化の対象として計画しています。最終的に公立園は 2 園を残す想定です。

問 ふるさと創造会議について。

答 はつらつ委員会とふるさと創造会議の連携や統合により、内容の重複した事業を整理し、総会等の

一本化など地元の負担軽減につなげます。地域課題を解決していくために、相互に補完し合いながら自治会と共に地域を運営して行く組織を、ふるさと創造会議は目指します。

問 季節性インフルエンザ費用助成について。

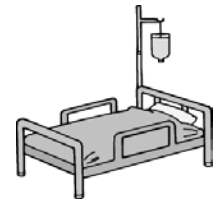
答 高齢者については任意接種で助成していますが、新たに子供についても集団感染予防の観点から助成を実施します。2,000 円割引クーポン券を配布します。

議案第 32 号 令和 2 年度加西市病院事業会計予算について

病院事業収益 54 億 5,329 万 1,000 円、病院事業費用 57 億 714 万 2,000 円などを定めるもの。

問 入院外来の状況、収益の状況、病床利用率、不良債務などの現状と今後の方向性は。

答 1 月末時点で、1 日当たりの入院患者数 184.5 人、外来患者数 461.6 人です。病床利用率は 80.6%、うち一般病床 80%、地域包括ケア病床 81%です。入院単価は 4 万 4,080 円、外来単価 1 万 259 円です。不良債務は 3 月末で 5 億 4,900 万円を見込んでいます。一般病床数は 260 床ですが、実態を受けて抜本的に効率化を図り、令和 2 年度は 193 床で運用する方針です。



追加議案

議案第 33 号 加西市災害等による小学校等の臨時休業に伴う給付金に関する条例の制定について

議案第 34 号 令和元年度加西市一般会計補正予算（第 6 号）について

災害等に伴う小学校等の臨時休業により、子供の世話をするために休職することで生活が困窮する子育て世帯を支援するため、給付金を支給するもの。

【概要】 給付金額：賃金相当額（上限：8,330 円 / 日、1 回の臨時休業期間につき 10 万円）

質疑

問 この措置をとる結論を出したのはどういうところにあったのか。また、新型コロナウイルスだけでなく、災害等と対象の範囲を広げたのはなぜか。

答 新型コロナウイルスに関する国の救済措置が正式に決定しない中、特に 3 月は入学準備など費用がかかる時期であり、急激に窮迫した状態になることも考えられ、できる限り速やかに対応するためです。また、感染症であれば、今回のように新たに条例や制度をつくる上で議論の場を持つことも可能ですが、地震等で被災した状況ではそれが困難だと考えます。

討論【反対】

・議案第 34 号について異論なく、議案第 33 号については、趣旨は賛成するが、急ぎ作成された議案を、即決するこ

とは理解できず、新型コロナウイルスだけではなく災害等も含む広い事案を、委員会付託もせず、しっかりとした審議時間を設けず審議したことは、市民に説明できない。

討論【賛成】

・文言や条文についてももう少し明確にすべき必要があると考え、委員会審議を求めたものである。ただ、現実には生活が困窮した状況にある方を救済支援するのは当然のことであり、この内容については賛同する。また、緊急の問題に素早く対応することが、最大の任務だと思う。保護者への通知など、いろいろな手段を通じて 1 日も早く伝えていただきたい。

（議決結果）全会一致で可決（賛成 10、反対 0、退席 3）

※ 委員会付託を省略し、本会議において質疑、討論、採決を行いました。

常任委員会審議

総務

建設経済厚生

予算決算

上程された議案は、それぞれ所管の総務常任委員会、建設経済厚生常任委員会及び予算決算常任委員会に付託し、審議を行いました。

国民健康保険

議案第 7 号 加西市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

問 今回、子供の均等割額をゼロにしたとしても、今後激変緩和措置が終わる、また県の制度が一本化されることにより、元の均等割額に戻す選択肢はあり得るのか。今後の見通しはどうか。

答 県の統一保険税に伴って減免基準の統一が図られた場合、それに従わざるを得なくなると考えますが、基金と保険者努力支援制度の交付金を最大限活用して、今後も継続していきたいと考えています。国民健康保険の均等割の制度は被用者保険にはないため、国や県に対して子供の均等割の軽減を働きかけたいと思いません。



こども園

議案第 17 号 (仮称) 泉こども園造成工事請負変更契約の締結について

問 工事内容の変更が 4 つあるが、増額する 2,106 万 3,900 円の内訳について。

答 地盤の一部と新設道路下の地盤改良の追加で 550 万円。擁壁底面の地盤改良でセメント添加量を増加し、L 型擁壁 320 メートル、重力式擁壁 206 メートルで 350 万円。ガードレールの仕様変更により県道の 50 メートル両側をガードパイプに変更、転落防止柵タイプに変更した 140 メートルで 200 万円。集水柵用蓋仕様変更でコンクリート蓋をグレーチングに変えたことで 650 万円。その他細部について現地精査等により変わっています。



子育て支援

議案第 18 号 第 2 期加西市子ども・子育て支援事業計画の策定について

問 就学前と小学生の保護者へのアンケート結果において、最上位である、相談できる環境が必要ということに対する対策または方針について。

答 「相談できる場所がどこにあるのか。」「どこに相談すればいいのかわからない。」「相談するには敷居が高すぎて相談しにくい。」「気軽に声をかけられない。」という意見が多数ありました。サービスについての情報発信に努める中、保護者に寄り添う環境も必要だと考えますので、可能な限り相談に訪れやすい窓口の体制や時間帯などの改善を進めたいと考えています。

補正予算

議案第 19 号 令和元年度加西市一般会計補正予算(第 7 号)について

問 教育情報推進事業について、パソコンの購入方法はどうか。また、校内通信ネットワークはどのように整備されるのか。

答 パソコンは、兵庫県で取りまとめて共同購入することになっています。大きな単位で共同購入することにより、スペックの統一性や県内で統一した教育環境を整備していく、また価格面においても抑えることができるようになっていきます。校内通信ネットワークの整備については各学校にサーバーを置くのではなく、クラウドを利用してインターネットに接続してつないでいくことを現在想定しています。

問 生活保護の事業で、扶助費のうち医療扶助が 5,300 万円の減額となった理由について。

答 平成 30 年度と比較して、令和元年度は全体的に医療機関を受診した方が減っている状況です。なかでも調剤費がかなり減っています。ジェネリック医薬品の利用の促進や、医師会、歯科医師会、薬剤師会に再度啓発等をお願いをしていることから、減っていると考えています。

修正案

修正案とは、議案の一部が容認できない場合に、議案全体に対して反対するのではなく、委員会や議員によって修正案を提出することができます。議員による修正案の提出には、2名以上の発議者（提出者）が必要となります。

議案第 19 号 修正案 令和元年度加西市一般会計補正予算（第 7 号）に対する修正動議（主な内容）

- ・北条鉄道法華口駅交差施設の工事費の増額について、当初の事業費を過少に見積もり、後で大幅に増額することは認めがたいので、北条鉄道設備等整備費補助金増額分を削除する。
- ・消防団運営費について、今年度購入済みの非難燃性の活動服を、市が買い取るなど補償をすべきとの考えから、消耗品費（消防団員の活動服購入）減額分を一部修正する。

議案第 24 号 修正案 令和 2 年度加西市一般会計予算に対する修正動議（主な内容）

- ・今後の加西市観光まちづくり協会の自立的運営と受益者負担の観点から、事業収入の確保に努める余地があるため、補助金の一部を減額する。
- ・シティプロモーション事業は、市が行う他の広報活動やメディア等をうまく活用すればよいことであり、あえて予算を割く必要があるのか疑問であり、削除する。
- ・地域おこし協力隊事業は一種のブームは過ぎており、廃止すべきとの考えから削除する。また、若者応援事業助成金は、事業実施後の継続性が不明で、見直すべきとの考えから、若者応援事業の一部を減額する。

討論

討論とは、表決の前に賛成か反対かの自己の意見を表明することです。3月定例会では、5名の議員が討論を行いました。主なものを紹介します。

議案第 7 号 加西市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

可決（賛成 14、反対 0）

賛成

- ・ゼロ歳から 18 歳までの均等割額の減免措置は、子育て世代の経済的負担の軽減であり、県下でも 2 番目の早い取り組みで、福祉にやさしいまち加西市を大きく PR するとともに人口増施策として有効である。
- ・均等割額の仕組みが、今の少子化対策と子育て支援から矛盾しており、今回の改正は大きく評価して賛成する。

議案第 14 号 市立加西病院の使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例の制定について

可決（賛成 13、反対 1）

反対

- ・公共料金審議会で議論された提案ではあるが、市民生活への影響など値上げが必要か疑問である。総額 200 万円の増収見込みとの説明だが、病院の経営改善は基本計画を立てて図るべき。近隣自治体でも現状の診断書料金が少なくなく、市民負担は最終的に求める考え方から反対する。

議案第 17 号（仮称）泉こども園造成工事請負変更契約の締結について

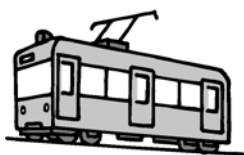
可決（賛成 14、反対 0）

賛成

- ・変更契約の議決前に追加工事の発注は議会軽視である。当初の設計にミスがあり、低入札工事であるために請負業者を圧迫しかねない。別件の追加工事で発注すべきと考える。賛成するが意見として述べておきたい。

原案に賛成・修正案に反対

- 北条鉄道利用者から、行き違い工事での増便による利便性の向上を求められる。加西市を訪れる人をふやし活性化を図るためにも、交差事業に期待を持って賛成する。
- 北条鉄道は公共交通の確保として重要である。安全性はこれまで確認しており、今回また別の視点から国の指導を受けて安全対策を図るための補正は極めて重要で、修正案に反対する。



原案に反対・修正案に賛成

- 北条鉄道行き違い工事の 3,232 万 2,000 円の追加工事が疑問。設計内訳書の内容も不十分で、北条鉄道の経営や事業についても透明性の確保が当然の責務であり、国土交通省の指摘を受けた追加工事が必要か、人口増に効果があるか疑問に思い、大幅な増額補正は反対する。
- 少子高齢化の波で利用者減少、社会交通事情の変化で北条鉄道の経営は厳しくなると予測するため、追加工事に必要性に疑問を持つ。消防団の活動服について、新基準での難燃性活動服購入の指示をしなかった行政の不作為により、非難燃性活動服を購入させられた多くの部がある。その無駄な支出となった活動服の購入代金を補償すべきとの立場から、修正案に賛成する。

原案に賛成・修正案に反対

- こども狂言塾は、日本でも有数の狂言師の指導を直接受けることで感性を高め豊かな心を育むと同時に、加西市に息づく歴史や文化の継承にもつながり郷土愛を高める。日本を代表する能楽師による加西能を開催できることは夢のような話。開催を待ち望む市民の思いを大切にしたい。加西市の文化レベル向上にも重要な事業であり賛成する。よって、減額を求める修正案には反対する。
- 鶉野飛行場跡を活用したイベントで来訪者がふえていく。その観光拠点として地域活性化拠点施設の工事が開始され、市道整備や国道のバイパス化が図られて市や地域にとり大きなインパクトを与える活性化の起爆剤になる。平和の尊さを示し、みんなが語り合える場所になることを期待して賛成する。鶉野飛行場を全国に周知してもらうために頑張る時期で、事業費を減額する修正案には反対する。
- 観光事業は即効性があるとは思わないが、ブランド品が定着していけば相乗的に効果が出てくる。費用対効果も勘案し、加西発展のため期待を込めて応援するため賛成する。
- 原案に賛成するが、予算措置に当たりふるさと納税を財源化することは、流れが変わる時には影響が非常に大きいために最大限慎重に扱うべきである。
- 国や県の財政措置がある事業は積極的に活用して事業を展開することは重要である。通学補助にも広く支援することは極めて大事なことで、修正案には反対する。

原案に反対・修正案に賛成

- 播磨国風土記関連事業は否定しないが、参加料や受講料の見直しで市の負担を減らすべきだ。北条節句祭りや播州歌舞伎には風土記事業ほどの特段の支援はなく不公平であり、高額な税負担より自主的運営できる形に変えるべきだ。地域活性化拠点施設は運営費が年間 7,000 万円との試算は、市負担軽減のためにも入館料を検討すべきで、原案に修正を求める。
- 空がつなぐまち・ひとづくり交流事業は市全体への波及効果がなく、市の課題解決のための交付金が未来への確実な投資となるか明確でない。関連の委託金も必要性が認められないので削減する。地域おこし協力隊事業も見直し、市内在住の若者に有益な事業に市税を投入すべき。新型コロナウイルスの影響は深刻で緊急事態。新年度予算は、景気対策や生活支援に重点化して、修正カットする分を市民生活安定に回すべき立場で修正案に賛同する。



請 願

請願第 1 号 県道山下飾東線と市道剣坂野条線の交差点の安全対策について

(請願趣旨) 県道山下飾東線と市道剣坂野条線との交差点において事故が多発しており、警察も一旦停止の取り締まりを再三行っているが、事故が発生している。また、小学生の通学路でもあるが、県道区間の道幅が狭く危険なため、10 分余り遠回りしている。解決に向けて、一日も早い道路の拡幅工事と信号機の設置をしてほしい。

委員会審議 建設経済厚生常任

問 資料では、平成 27 年から 30 年まで年間 1 件ずつ人身事故があるが、去年は事故が 6 件に増えている。急に事故が多発した理由は。

答 (紹介者) 見た感じでは、30 年まで週に二、三回取り締まりが行われ、パトカーのサイレンがよく聞こえる状況でした。しかし、去年に入り、取り締まりが緩くなったせいか、ドライバーの一旦停止無視が多発したのではないかと思います。

問 これまでの安全対策は。

答 (執行者) 事故があるたびに、加西警察署、県加東土木事務所、市で協議を行い、路面表示や警戒標識等を設置してきました。昨年度、県道には「速度落とせ」の路面標示を行っています。市道には「止まれ」の路面標示を強調したり、速度抑制のためのドットラインを引いたり、「交差点あり」の警戒標識を設置しています。

問 市として、信号機設置の働きかけは。

答 (執行者) 信号機設置の要望は以前から行っており、直近では、昨年 11 月 20 日に市長から加西署長に要望しました。県公安委員会も現地確認し、事故は毎年 1 件程度と少なく、見通しはそれほど悪くないため、今のところ信号機設置は考えていないという回答でした。

討論 (賛成)

・過去に 2 件の死亡事故が起きており、これ以上、この場所で死亡事故が起こらないように信号機の設置や道路拡幅等、できる限り安全対策をとり、事故防止に努めていただきたい。

(委員会での議決結果) 全会一致で採択

※ 本会議最終日においても全会一致で採択し、その後、審議結果を市長に送付しました。

陳 情

陳情第 1 号 播磨内陸医務事業組合立播磨看護専門学校存続に関する陳情

(陳情趣旨) 昭和 51 年の開校以来、1,200 名余りの卒業生を数え、かなりの割合で圏域内の病院や施設に看護師を送り出してきた。就学環境が恵まれた公立の看護師養成学校がなくなれば、家庭や経済的事情により、看護師への道が閉ざされる方が出てくる。地域内に就職する安定性と継続性の低下、地元病院の負担の増加が危惧される等の理由から、身近にある播磨看護専門学校が存続するよう関係機関に働きかけてほしい。

委員会審議 建設経済厚生常任

問 看護師国家試験の合格率 100%が続いていることについて。

答 (陳情者) 少なくとも平成 26 年から 100%です。特に、学校の実習は圏域内の病院で分担しており、現場の看護師にとっても、実習が自己学習を促し、病棟や病院全体の質的な向上につながっていると思います。

問 小野市の動きにより、学校の廃止や民間に移管されるかもしれないと報道で知ったときの思いは。

答 (陳情者) 県内の看護大学や専門学校と比べても、播磨看護専門学校の教育内容と実習、国家試験の合格率は、引けをとりません。また、卒業生の中から看護協会が定める専門分野の認定看護師となり、圏域の看護の質向上に寄与しています。細やかな指導を通して、看護師を育成する役割は十分に果たしていると自負しています。

討論 (賛成)

・卒業生の 6 割以上、小野・三木を含めると 8 割以上が北播磨地域内の病院に看護師として就職しており、学校が地域医療を支えている。地域の安全・安心な暮らしを守るために、存続させていかねばならない学校である。
・これまでどおり運営しつつも、入学者の確保や講師派遣、市町の負担金、卒業後の受け皿の問題など運営のあり方について、引き続き、検討・見直していくという立場で賛成する。

(委員会での議決結果) 全会一致で採択

※ 本会議最終日においても全会一致で採択し、その後、審議結果を市長に送付しました。

陳情第2号 加西市低入札価格調査制度の見直しについて

(陳情趣旨)

加西市では、契約予定価格1億円以上の工事を対象とする低入札価格調査基準価格及び調査基準最低価格は、平成24年の制度導入から一度も見直されず、中央公契連モデルや国の見直しを踏まえない著しく低い最低制限価格である。建設業協会より市長宛てに、制度見直しの要望書を提出したが、現状維持との回答であった。ダンピング対策としても、低入札価格調査制度を現行(予定価格の10分の6から7までの範囲)から10分の7.5から9.2までの範囲に改定していただきたい。

委員会審議

総務常任

問

低入札になる理由は何か。

答

(陳情者) 一番の要因は、建設業界は冬が忙しく、夏は仕事がないため、従業員の給料の支払い分だけでも確保できるように、儲からなくても落札したいという実情があるためです。加えて、国や県等の価格設定が高い工事で利益を蓄えた大きな企業が、加西市で安値で入札している状況があります。

討論【反対】

・よりよい市民生活のために、ぎりぎりのところで予算を使わないといけない。現状、1億円以上の工事は、JVを組んで市内業者も入札できる環境であり、1億円未満の工事は落札率は86～87%で十分な落札ができています。

低入札になっても、本当にできるのか調査しているので、この制度は有効に実施されており、現状のままでよい。

討論【賛成】

・低入札案件が多くなっているが、低入札は企業努力との答弁が繰り返され、市は地元業者の育成や守る観点が欠落し、実情を理解していない。さらに契約変更や追加工事により、業者を圧迫しているとも聞く。これまで品質確保やダンピング受注、低入札の問題など、見直しを迫る議論もあったが、いまだ改正されていない。

(委員会での議決結果) 賛成少数で不採択

※ 本会議最終日に可否同数による議長裁決で採択し、その後、審議結果を市長に送付しました。

第281回 令和2年3月定例会議決結果一覧

令和2年2月26日～3月26日

■賛否の分かれた議案 (採決順に掲載)

○…賛成 ×…反対

議案	北川克則	高見博道	下江一将	佐伯欣子	深田照明	原田久夫	井上芳弘	中右憲利	黒田秀一	丸岡弘満	深田真史	森元清蔵	衣笠利則	森田博美	土本昌幸	議決結果
議案第33号 加西市災害等による小学校等の臨時休業に伴う給付金に関する条例の制定について	○	○	欠席	○	○	○	○	○	退席	退席	退席	○	○	○	議長	原案可決 (賛10、反0)
議案第34号 令和元年度加西市一般会計補正予算(第6号)について	○	○	欠席	○	○	○	○	○	退席	退席	退席	○	○	○	議長	原案可決 (賛10、反0)
議案第14号 市立加西病院の使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議長	原案可決 (賛13、反1)
議案第19号 修正案 令和元年度加西市一般会計補正予算(第7号)に対する修正動議	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	議長	修正案否決 (賛3、反11)
議案第19号 令和元年度加西市一般会計補正予算(第7号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	議長	原案可決 (賛11、反3)
議案第24号 修正案 令和2年度加西市一般会計予算に対する修正動議	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	議長	修正案否決 (賛3、反11)
議案第24号 令和2年度加西市一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	議長	原案可決 (賛11、反3)
議案第27号 令和2年度加西市後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議長	原案可決 (賛13、反1)
陳情第2号 加西市低入札価格調査制度の見直しについて	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	議長	※原案採択 (賛7、反7)

※…可否同数につき、議長裁決により原案採択

■全会一致で承認、適任と答申、可決、採択した議案

- 報告第 1 号 専決処分したものにつき承認を求めることについて（令和元年度加西市一般会計補正予算（第 5 号））
- 諮問第 2 号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
- 議案第 1 号 加西市総合政策審議会条例の制定について
- 議案第 2 号 加西市民会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 3 号 地方自治法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- 議案第 4 号 一般職の職員の給与に関する条例及び加西市病院事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 5 号 加西市職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 6 号 加西市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 7 号 加西市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 8 号 加西市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 9 号 加西市下水道条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 10 号 加西市区域外学齢児童生徒就学に関する条例を廃止する条例の制定について
- 議案第 11 号 令加西市学童保育園の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 12 号 加西市立社会教育集会所の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について
- 議案第 13 号 選挙長等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 15 号 市道路線の認定について
- 議案第 16 号 市道路線の認定について
- 議案第 17 号（仮称）泉こども園造成工事請負変更契約の締結について
- 議案第 18 号 第 2 期加西市子ども・子育て支援事業計画の策定について
- 議案第 20 号 令和元年度加西市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）について
- 議案第 21 号 令和元年度加西市介護保険特別会計補正予算（第 3 号）について
- 議案第 22 号 令和元年度加西市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）について
- 議案第 23 号 令和元年度加西市産業団地整備事業特別会計補正予算（第 2 号）について
- 議案第 25 号 令和 2 年度加西市国民健康保険特別会計予算について
- 議案第 26 号 令和 2 年度加西市介護保険特別会計予算について
- 議案第 28 号 令和 2 年度加西市公園墓地整備事業特別会計予算について
- 議案第 29 号 令和 2 年度加西市産業団地整備事業特別会計予算について
- 議案第 30 号 令和 2 年度加西市水道事業会計予算について
- 議案第 31 号 令和 2 年度加西市下水道事業会計予算について
- 議案第 32 号 令和 2 年度加西市病院事業会計予算について
- 請願第 1 号 県道山下飾東線（372 号）と市道剣坂野条線の交差点の安全対策について
- 陳情第 1 号 播磨内陸医務事業組合立播磨看護専門学校存続に関する陳情
- 議案第 35 号 令和元年度加西市一般会計補正予算（第 8 号）について

加西市議会ホームページのご案内

議会の日程や議案の審議結果などを掲載しています。また、これまでに発行された議会だよりや本会議、委員会の映像、会議録も見るができます。ぜひ、ご活用ください。

スマートフォンでご覧いただく場合は、P16 の QR コードをご利用ください。

第 281 回定例会（令和 2 年 3 月議会）

一般質問

3月9日、11日の本会議では、11名の議員が一般質問を行い、市政全般にわたり活発な議論が展開されました。主なものを紹介します。（発言順に掲載）

審議の様子は、インターネット中継や会議録検索システム（5月下旬掲載予定）にてご覧いただけます。



障がい者支援について



中右 憲利 議員
（令和新風加西）

問 昨年 11 月の議会と加西市手をつなぐ育成会との意見交換会での要望に基づく質問だが、近くに障がい者の短期入所施設が少ないことへの対策について。

答 緊急時の受け入れに対応するための地域生活支援拠点の整備、事業所の新規開設を促

すための補助制度を検討しています。

問 障がい者福祉担当課における専門職の配置について。

答 社会福祉士の採用や保健師の配置等、可能な限りの対応はしています。加えて、障害福祉サービスの情報提供や相談等の業務を委託している基幹相談支援センターでは、相談支援専門員 6 名が常駐しています。また今後研修等で職員のスキルアップにも努めます。

問 障がい者の就労支援について。

答 相談者の状態に応じた就労訓練や支援を行っています。また、市役所内の軽作業を事業所に委託し、就労訓練事業も行っています。今後は農福連携など新しい取り組みも研究し、障がい者の就労支援に努めます。

問 障がい者の災害時の避難手順等について。

答 まずは一時避難所の小学校等に避難し、必要であれば福祉避難所に移動するという手順です。今後は福祉避難所の周知、災害時のマニュアルの作成等に取組みたいと考えます。

新型コロナウイルスへの対応、都市計画税について



黒田 秀一 議員
（自由民主党・無所属の会）

問 加西病院の新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ体制について。

答 別棟で管理する感染症病棟で受け入れます。また、感染症管理の専門資格を持つ 2 名を配置し、常に準備しています。さらに、加東健康福祉事務所と連絡

を密にし、対処マニュアル、防護服等の用意を常時確認、訓練し、受け入れ準備をしています。

問 市内で新型コロナウイルス感染者が発生した場合の市の対応について。

答 加西市新型インフルエンザ等対策行動計画に準じて対策本部を設置し、市の対応について意思決定を図っています。市の主催行事の中止や延期、公共施設の利用自粛、臨時の休校措置、また生活支援対策等も行っています。また、マスクの備蓄数は 8 万枚程度です。（3月9日現在）

問 都市計画税はどのような事業に充当しているのか。

答 市街化区域内の都市計画事業、都市計画道路の整備、都市公園の整備や雨水渠整備、下水道事業の実施など、貴重な財源として有効に活用しています。

問 下水道事業会計における都市計画税充当事業の収支の明記について。

答 都市計画税は市街化区域内における狭義の公共下水道事業に活用しており、今後は、特定環境保全公共下水道事業と分けた収支表記とするよう考えます。

一般質問

学校での感染症予防対策教育



深田 照明 議員
(21政会・加西ともに育つ会)

問 学校での感染症予防対策教育の現状は。

答 感染症予防対策として、養護教諭や担任による指導、教育や、児童生徒の保健委員会で手洗い指導の呼びかけをしたり、予想以上に手に細菌が残っている写真を手洗い場に掲示する

など、手洗いの大切さを実感できるような工夫をしています。しかし、完全な手洗いは難しく、手洗いチェッカーの活用は有効ですが、学校での常備には至っていません。

問 手洗いチェッカー使用について。

答 正しい手洗い方法を実感して理解させるには年間複数回、手洗いチェッカーを用いた指導をすることも効果的であると考えます。今後は、新南部学校給食センターに導入予定の手洗い

チェッカーを活用しながら、子供たちが自分の体は自分で守るという意識を持てるよう、指導に努めたいと考えます。

問 病院と協力した感染症予防について。

答 感染症の認定看護師が、学校で正しい手洗いを指導しています。また、学校への手洗いチェッカー貸し出しも可能です。

■その他の質問項目

- ・ 通学路の安全整備状況
- ・ 加西病院の感染症対応

地域主体型交通について



北川 克則 議員
(令和新風加西)

問 どのような種類があるのか。

答 大枠では3つの形態があります。まず、路線定期運行は、宇仁郷まちづくり協議会が予定されている運行形態で、あらかじめ決まった時刻、ルートを実行する

ものです。次に、路線不定期運行は、あらかじめ決まったルート、予約がある時間帯のみ運行する形態です。最後に、区域運行は、決まったルートは定めず、特定の区域内で予約に応じて運行する形態です。

問 導入に際しての行政サイドの支援内容について。

答 ニーズを把握するためのアンケートの収集は、地元をお願いしていますが、集計作業や分析などは支援をしています。申

請をするための書類作成や、公共交通活性化協議会での承認などの手続についても支援します。導入後は、順調に運行できるように、補助金の支出や助言等を行いながら、持続可能な交通の確保に向けて支援をします。

要望 第6次加西市総合計画に、公共交通の再編と地域主体型交通の推進を盛り込んでいただきたい。

■その他の質問項目

- ・ 高齢者福祉について

助産師の産後ケアについて



佐伯 欣子 議員
(21政会・加西ともに育つ会)

問 加西病院の産科がなくなった後の産後ケアの現状は。

答 過年度より年間約50～60例の実績があり、令和2年度も同数を見込んでいます。看護師兼任の助産師3名の体制です。

問 市民の近隣病院での産後ケアの受け皿について。

答 産後ケア事業の受け皿は、加西病院に加えて市内1カ所、近隣2カ所の体制をとっています。平成28年の事業開始以降20名が利用され、9割が加西病院、1割が近隣病院の利用です。

問 関係機関等との連携について。

答 民生児童委員の訪問による顔つなぎや情報共有、検診での支援や産後ケア事業への橋渡し、また、加西病院勤務の助産師資格を持つ保健師の健康課への配置による連携強化等、産後も安心して子育てができる支援体制の確

立を図っています。

問 加西病院における産後ケアの姿は。

答 高度急性期病院が分娩を担い、加西病院は産後ケア、妊娠初期の検診を担う地域多機能型病院としての機能を果たすことが責務だと考えています。

要望 加西病院の産後ケアは近隣の中でも実績と強みを持っている。これから妊娠、出産、子育てされる女性が、安心して子供を産み育てられる優しいまち加西市として充実させていきたい。

令和2年度市長の施政方針について



衣笠 利則 議員
(21政会・加西ともに育つ会)

問 加西市としてさまざまな課題がある中で、今年度重点的に取り組みたいことについて2点挙げて下さい。

答 (市長) 一つは加西病院のことです。今、議論となっているように、病床数を199床に減

らしていく方向性が示されていますが、神戸大学からは、医師を派遣するにあたって、さらに病床数を減らすよう求められています。今後市民の皆さんとかなり厳しい議論をしなければなりません、しっかりと方向性を決め、耐震化に伴って病院をどう建てるか決めていきたいと考えます。

もう一点は学校のあり方、小中学校のあり方についてです。学校のことは教育委員会がするイメージをもっておられる方が多いと思いますが、学校の配置については私の仕事ですので、しっかりと定

めていきたい。保護者の方々、また地域の方々としてしっかりと議論を行っていきたいと考えています。

■その他の質問項目

- ・ふるさと協創のまちづくりについて
- ・産業団地、鷲野飛行場跡地の開発について
- ・子育てについて
- ・雇用と経済について
- ・元気で安心して暮らせる加西について

財政運営について (病院経営と建て替え問題について)



深田 真史 議員
(自由民主党・無所属の会)

問 加西病院の不良債務(5億4,900万円)を消さない、起債をし、病院の改築に着手できない。院長から、病院が自力で不良債務を解消するのは困難との発言があった。市長として、病院の不良債務をいっどう処理するつもりか、はっきり答えてもらいたい。

答 (市長) 市民の思いと一番対極にあるのが神戸大学です。医師派遣の支援は現実とかなりかけ離れており、交渉は困難を極めます。今秋には、病院建設基本計画ができるので、市民と丁寧にやり取りしていきたいと思えます。病院が借金をしないと建て替えできません。借金できるようにするのが市の責任なので、そういう状況に対応していきます。

問 結局、病院の建て替え費用はいくらかかるのか。

答 結論的に未定です。当面は199床で63億円です。他

に、解体費として6~7億円が相場です。建設場所は、病院の西館が15年しか経っておらず、それを活用して、接続する建物を新たに建てるのが最有力です。兵庫県や神戸大学による播磨地域内の加西病院の位置づけ、他院との連携により、今後、加西病院がどれだけの規模でどんな医療を提供していくか決めて、総費用を精査します。

■その他の質問項目

- ・総合計画・地域創生戦略について

地域医療制度について



井上 芳弘 議員
(日本共産党)

問 地域医療構想という、国が医療費抑制の立場から取り組んできた医療制度改革の中で、全国の公立病院が苦しんでいると思うが、その認識は。

答 今回、424の病院が経営改善を求められ、加西病院はリストに入っていないものの、直

近のデータではリストに載ってしるべきと思っています。北播磨2次医療圏は急性期のベッド数が多く、回復期は圧倒的に足りない状況で、ここに加西病院の生きる道があるのではと考えます。2025年の地域医療構想に向け、改革のスピードを速めるように厳しい指導があると思います。

問 病床数はレセプトの実績だけで算定され、経済格差や地域格差を反映しない内容とすることに議論がある。今回の感染症対応も考慮されていないが、地域医療を守る立場からの考えは。

答 加西病院では実態もあわせ、基本構想では、最新のデータと人口予測、県の疾病ごとの受療率、医学の進歩などによるベッド数の減少予測を踏まえ、どういうダウンサイジングにするのか、医療の質、地域のニーズを将来受療も含めて担保しながら、しっかりと検討したいと考えます。

意見 ダウンサイジングは議論の余地があると思うが、少なくとも公立病院として守るために、今後事業を興していく上で、不良債務等については行政からもしっかりと財源確保を求めたい。

一般質問

市立加西病院について



高見 博道 議員
(令和新風加西)

問 地域多機能型病院とはどのような病院か。

答 急性期だけではなく、回復期、亜急性期という、ある疾患について治りにくい方や治療が遅い方について、最後まで病院

でしっかりケアをしながら治していく機能が地域多機能型で、地域医療の最たるものと考えています。

問 近隣の病院と連携していくとのことだが、救急は本当に深夜日中を問わず対応が求められる。救急外来はどのような体制になるのか。

答 今まで救急診療室で内科、外科等の専門分野の医師が対応していましたが、4月からは

ER型となります。命を取りとめる、あるいは重篤にならない、予後が悪くない状態にするためのケアにおいて、20分という単位が非常に大事な時間です。その単位にあるちょうど市内の中心にある加西病院でER型にします。ER型とは、診療科ごとに対応していたものを一つにまとめて、まずはERという救急診療科にお越しいただき、その中で初期のケアをしながら必要に応じて各診療科に紹介します。患者、医療従事者にとって大変よい形であると考えます。

障害児福祉サービスについて



丸岡 弘満 議員
(自由民主党・無所属の会)

問 12月議会で放課後等デイサービス、タイムケア事業の議論をしたが、その後1事業所が廃止すると聞いた。今後の対策、学童保育での受け入れ検討は。

答 (健康福祉部) 放課後等デイサービスの利用希望が多

いため空きがなく、希望の施設や日数を利用できない、さらに新規の利用が難しい状況です。3月末に1事業所が廃止されることを受け、他の事業所に受け入れ等を働きかけたところ、定員増を決定された事業所があり、県とも調整を進めています。しかし、開設は早くとも5月となるため、利用者の不安な状況について理解を得、廃止時期を5月末にさせていただきました。今後も利用希望者が見込まれることから、施設整備の助成制度等も検討しながら施設の充実を図りたいと考えています。

(教育委員会) 放課後等デイサービスと学童保育をあわせて利用している児童もいますが、加配が必要な場合には受け入れ困難でお断りしている状況です。学童保育の利用が可能かどうかは、児童の状況に応じて個別の対応を行わざるを得ないと考えています。

■その他の質問項目

- ・安全安心なまちづくりについて
- ・誰もが安心して暮らせる福祉施策について
- ・市立加西病院について

鶉野飛行場跡地周辺の開発について



森元 清蔵 議員
(21政会・加西ともにつ育会)

問 鶉野飛行場跡地の戦争遺産の価値について。

答 点在する防空壕、爆弾庫、機銃座、貯水槽、滑走路など合計29カ所を戦争遺産として整理しています。滑走路など当時の状態がほぼ保たれた戦争遺産は全国でも希有で、歴史的価値も高

いと考えています。

問 この周辺の開発によって、何を伝えていこうとしているのか。

答 この跡地での史実としては、姫路海軍航空隊の開設と地元住民の立ち退き、生徒や多くの労働者が動員されたこと、同航空隊に約500名の若者たちが艦上攻撃パイロット養成として集められ、特別攻撃隊白鷺隊として63名もの若者が散華していたこと、500機余りの紫電、紫電改の戦闘機の組立てや試験飛行が行

われたこと、紫電改不時着による北条線脱線転覆事故で多数の死傷者が出たこと、3回の空襲を受けたことなどが挙げられます。これらの史実を後世に伝え、戦争の悲惨さ、あるいは平和の尊さなどを伝えていきたいと考えています。(市長) こんなに当時のまま残ったことは奇跡的で、残ったことが大切で、残った責任をしっかりと感じ、それを果たしていかなければならないと思ったわけです。その目的は、平和な社会を我々として引き続き確保していくということです。

市議会トピックス

令和元年度 政務活動費収支報告

議員の調査研究に資するために必要な経費の一部として、議員1人当たり年額10万円を会派に対し政務活動費を交付しています。なお、残額は年度末に返還します。政務活動費収支報告書・調査研究実施報告書・領収書等の資料は、市役所1階総合案内横の専用カウンター及びホームページにおいて常時公開しています。

(単位：円)

会派	交付額	支出済額		残額	執行率	支出項目					
		政務活動費	自費			研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費
21政会・加西ともに育つ会 (7人)	700,000	396,590	0	303,410	56.66%	0	396,590	0	0	0	0
自由民主党・無所属の会 (3人)	300,000	145,244	0	154,756	48.41%	0	93,910	0	51,334	0	0
令和新風加西 (3人)	300,000	251,220	0	48,780	83.74%	0	251,220	0	0	0	0
日本共産党 (1人)	申請なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
公明党 (1人)	100,000	0	0	100,000	0%	0	0	0	0	0	0
合計	1,400,000	793,054	0	606,946	56.65%	0	741,720	0	51,334	0	0

令和2年6月 加西市議会定例会の予定

月 日	時間	会 議
6月1日(月)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(提案説明等)
6月3日(水)	15:00	発言通告期限(質疑・一般質問)
6月10日(水)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(質疑・一般質問)
6月11日(木)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(一般質問)
	検議終了後	予算決算常任委員会(全体会)
6月12日(金)	10:00	建設経済厚生常任委員会
	委員終了後	予算決算常任委員会建設経済厚生分科会
6月15日(月)	10:00	総務常任委員会
	委員終了後	予算決算常任委員会総務分科会
6月18日(木)	10:00	予算決算常任委員会(全体会)
6月22日(月)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(委員長報告・討論・採決)

ぜひ傍聴にお越しください!



議会中継
(ライブ・録画)は
加西市議会HPへ



発行 加西市議会
編集 議会だより編集委員会

議会だより編集委員会

委員長 森田博美
委員 井上芳弘
委員 深田真史

副委員長 北川克則
委員 下江一将
委員 森元清蔵

〒675-2395 加西市北条町横尾1000
[TEL] 0790-42-8790 [FAX] 0790-43-1810
[email] gikai@city.kasai.lg.jp